

令和4年第11回定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和4年11月25日（金） 16時30分開会
17時00分閉会

2. 場 所 長与町役場 4階 第1委員会室

3. 出席者 教育長 金崎良一
教育長職務代理者 古賀清彦
委 員 廣田敬子
委 員 仁田千都子
委 員 山本 淳

4. 会議に出席した職員
教育次長 山本昭彦
学校教育課理事 田中 真
教育総務課長 森本陽子
生涯学習課長 北野靖之
教育総務課 係長 島 美紀

5. 会議日程

開会

日程第1 会議録の承認について

日程第2 報告

日程第3 議事

議案第34号 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

6. その他

閉会

○山本教育次長

皆さんこんにちは。

それでは、定足数に達しておりますので、令和4年第11回定例教育委員会を開会いたします。

はじめに、金崎教育長にご挨拶をお願いいたします。

○金崎教育長

皆さんこんにちは。

本日大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

全国市町村教育委員会研究協議会西日本ブロック大会が先日行われました。

会議にご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

また、町民文化祭の初日でしたが、古賀委員さんにおかれましては、教育委員を長きにわたってお務めいただいているということで自治功労表彰がございました。

おめでとうございます。

巷の話題ではございますが、サッカーの世界カップで日本がドイツに2対1で勝利するという、本当に世界からいうと、前代未聞だとか、驚愕をするということでニュースになっていますが、長崎出身の森保監督、そしてキャプテンの吉田選手、こういった方々のいろんなご活躍で、このような喜ばしい結果がありました。この中で森保監督が、4年間の積み重ねと粘り強いゲーム運びが、こういった結果になったということを淡々とおっしゃられたことが、非常に私の中では印象深かったと思います。

やはり、ああいう優れた方々であっても、4年間もかけて努力を積み重ねていくというのが非常にすごいことだと思いました。

さて、長与町の教育の話題としまして、11月15日の臨時議会で、小・中学校の音楽室への空調の設置が可決をされました。

これから今年度いっぱいかけて工事にかかる予定でございます。

また、本日長与中学校でふるさとキャリア教育研究大会をいたしました。多数の参加者も来ていただきまして、またそこで、教育の成果についても、報告がありました。

子ども達が成長した姿を見ることができて大変よかったなと思います。

本日は定例の教育行政報告に加えまして、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書が議題となっております。

これまで同様に様々なご意見をお願いしたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

○山本教育次長

ありがとうございました。

それでは次に、10月28日に開催いたしました教育委員会の会議録につきましてご承認をお願いいたします。

ご承認いただけますでしょうか。

はい、ありがとうございました。

それでは第10回定例教育委員会議事録につきましては承認されました。続きまして、次第4の報告になります。

(1) 教育行政、10月29日から本日までの報告でございます。

1ページをお願いいたします。

まず教育総務課では、10月31日、そして11月1日に、全国市町村教

育委員会研究協議会及び分科会が、長崎ブリックホール・出島メッセ長崎で開催されております。

教育長、それから、教育委員の皆様にもご出席をいただきました。

11月15日、先ほど教育長の方からもお話ありましたが、長与町議会臨時会におきまして、小・中学校の音楽室へのエアコン設置工事に係る補正予算の議案を上程し、承認をされております。

3月までに工事を完了する予定です。

それから11月16日には、福井県教育庁嶺南教育事務所から、オンラインでの視察研修を受入れております。

部活動の地域移行について、教育長、それから学校教育課参事で対応いたしております。

次に、学校教育課です。

今月は、各小学校で、修学旅行、それから運動会、遠足が実施されております。

本日、11月25日には、県教委指定研究発表会が、長与中学校で行われております。

長与中学校で実施をしておりますふるさとキャリア教育について、研究発表がされております。

最後に、生涯学習課です。

10月29日と30日に図書館まつりが行われました。

11月3日には、町民文化祭表彰式典と文化講演会が開催され、文化講演会では、著書、「奇跡のバックホーム」が話題となりました、元プロ野球選手の横田慎太郎さんに、「あきらめない心」と題してお話をいただきました。

11月5日には、町民文化祭の音楽祭、翌6日には、芸能祭が行われ、音楽祭には14団体、芸能祭には30団体が参加され、日頃の練習の成果を発表されておりました。

そのほか文化作品展や学校作品展では、個性の光る作品や芸術性の高い作品がそろいました。

11月19日に、長与町スポーツ協会との共催でスポーツ講習会を開催いたしました。

長崎県エアロビック連盟公認インストラクターの楠本博美先生をお招きし、「運動意欲を高めるためのフィットネスと軽運動」と題して、お話をいただきました。

約80人の参加がございました。

以上が、教育行政になります。

次に、学校事故報告と委任事項の報告でございますが、こちらの方はとも

にございません。

以上で報告を終わります。

これまででご質問等ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

無いようですので、次第5、議事の方に移りたいと思います。

議事の進行を金崎教育長にお願いいたします。

○金崎教育長

それでは、議案第34号 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての提案理由の説明を求めます。

山本教育次長。

○山本教育次長

それでは、議案第34号 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について、提案理由を申し上げます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検と評価を行いましたので、承認を求めるものでございます。

内容につきまして、簡単に説明をさせていただきます。

資料の方は、別冊の令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書をお願いいたします。

それでは、評価報告書につきまして、概要を説明させていただきます。

まず1ページになります。

令和3年度に実施をした事業の中から、25の事業を対象事業といたしまして、長与町の事務事業評価の評価方法により、点検と評価を行いました。

その結果を議会に報告し、また公表することとしております。

1ページの三つ目、点検評価の方法でございます。

事務事業評価の評価につきましては、妥当性、有効性、効率性の三つの視点から、A B C Dの4段階で総合評価をいたしました。

これらの評価を踏まえ、事業の問題点、今後想定される課題、その課題に対する改善案も含めた検討を行っております。

また、今後の事業展開、今後の方向性を、拡充・継続実施・改善・縮小・廃止に区分をいたしております。

それから、教育委員会が行ったこの点検評価に関しまして、客観性の確保と、多様な視点からの評価を得るために、元中学校校長の江口洋様と、元小学校校長の永富雅徳様の2人からご意見とご助言を外部評価委員の意見としてつけております。

それでは、5ページをお願いいたします。

こちら、点検評価の対象となった事業の一覧でございます。

令和3年度の事業のうち、改善がなされたもの、また、拡充して実施したと判断した事業について説明をさせていただきます。

まず、改善とした事業は、5ページの評価シート25教育内容の充実、26のながよ検定、27特別支援教育の充実、36生涯学習推進事業、37公民館等管理運営事業、42スポーツ施設の充実と有効活用の6件、それから拡充とした事業は、シート33の学校教材整備事業、46の図書館運営事業の2件となります。

まずは改善とした事業からご説明をいたします。

7ページをお願いいたします。

シート番号25の教育内容の充実になります。

令和4年度事務事業評価シートの中段、指標がありますけれども、その上になります。

評価対象年度評価事業実施状況と、評価対象年度事業改善状況の欄を見ていただければと思います。

令和2年度に作成しましたアカウントを利用して、自宅待機をした児童生徒の多くが、オンライン学習を受けることが出来たこと。

それから、令和3年度から、ドリル教材の利用による個別最適化学習のための取組を全校で行っております。

学校によっては、ドリル教材強化月間を設定し、利用率を上げるなどの工夫をし、学習への取組につなげました。

それから、次のページ8ページ、シート番号26ながよ検定をお願いいたします。

こちらでは、ペーパーレス化への取組を行い、小学校3年生以上のテキストについては、全てデジタル版ながよ検定テキストといたしました。

また、タブレット端末にダウンロードした在籍学年以外の問題にもアクセスすることができるようにし、個別最適化された学習での利用も可能といたしました。

このデジタル化により、学習の機会が減少しないよう、各クラスでの指導も行っております。

次に、9ページをお願いいたします。

シート番号27の特別支援教育の充実になります。

特別支援教育に携わる支援員と、定期的に情報交換、月例会を行ったほか、小中学校の教職員に対しましては、実態把握チェックシートの活用等の研修を行い、よりきめ細かな教育ができるよう努めたところです。

加えて、学校からの要請に応じ、指導主事や、学校教育相談指導員が学校

を訪問し、特別支援学級や、通級指導教室での指導についても助言をいたしております。

また、特別支援教育支援員の数を令和2年度の18人から、令和3年度は22人に増やしております。

次に、18ページ、お願いいたします。

シート番号36の生涯学習推進事業になります。

令和3年度も、コロナ禍により講座が休みとなったり、中止となる講座が生じましたが、受講者に対しましては、SNSなどの登録を促し、講座の休校などを確認できるように、環境を整えております。

また、令和3年度から、働く世代の男性や若い世代に向けた、新規講座として、ゴルフ講座やDIY教室を開催し、勤労青少年ホームで行いました。

ゴルフ講座に関しましては、申込みが多く、1講座の予定でしたが、もう1講座増やしまして、2講座開講をしております。

19ページをお願いいたします。

シート番号37公民館等管理運営事業です。

新型コロナウイルス感染症対策として、勤労青少年ホーム、働く婦人の家、長与町公民館の手洗い水栓を非接触型の自動水栓に取替えております。

また、上長与地区公民館におきましては、浴場跡をコミュニティールームとして改修をしております。

次に24ページをお願いいたします。

シート番号42スポーツ施設の充実と有効活用になります。

新型コロナウイルス感染予防対策のために、武道館の手洗い場を自動水栓に取替えた他、スポーツ施設の予約管理をオンライン化するための、新システムの構築を行っております。

オンライン化により、利用者個人のパソコンなどによりスポーツ施設の予約が可能となっております。

令和4年度の4月より、この新システムで稼働運用し、これにより窓口業務の軽減も図られております。

以上6つの事業で改善としております。

続きまして、拡充した事業につきまして、ご説明をいたします。

ページを戻っていただきまして、15ページをお願いいたします。

シート番号33学校教材整備事業になります。

ICT教育の推進ということで、令和3年度には、ICTを利用したドリル学習、タブレットドリルを導入し、学習用ツールとしてのiPadの活用を図っております。

本格的なICT教育推進のため、多様な子ども達の一人一人に個別最適化

され、資質、能力が一層確実に育成できるICT教育環境の整備を図っております。

最後に28ページ、シート番号46の図書館運営事業になります。

こちら、自動車文庫ほほえみ号のラッピングデザインをリニューアルした他、図書館システムを変更し、ホームページをリニューアルいたしました。

以上2つの事業が拡充としております。

それから31ページからは、外部評価委員の意見として、2人の先生からいただいた所見になります。

総合評価として、25事業のうち、23事業がA評価であり、事業の達成に向けた取組、それからA評価であっても、改善点などを見出し、対策を講じていたことに評価をいただいております。

また、活動指標・成果指標につきましては、実績も十分満たしている内容や、事業の成果を数値化する際には、指標を精査し、現行の指標を変更するなど、新たな指標や目標値を設定する必要性も提言されておりました。

その他各事業に対しましても、今後実践していくこと、それから取組や、期待することなどの提言もごございます。

最後に、46ページの中で、終わりにということで、教育委員会としてのこの報告書を公表する意義を示しております。

以上が、令和4年度の評価報告書の概要でございます。

委員皆様の事業に関するご意見など賜りたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

○金崎教育長

はい。今次長からの説明がございましたが、分量が大変多いですが、この議案第34号につきまして、質疑はございませんでしょうか。

どこからでも結構でございます。

古賀委員。

○古賀委員

25番教育内容の充実の中で、Wi-Fi環境が整っていない世帯への貸出しですが、どれくらい実際進んでいるのかなと思ひまして、分かる範囲で構わないので、教えていただければと思います。

○金崎教育長

森本課長。

○森本課長

ルーターの貸出し台数は、50台弱。そのうちSIMカードが入っているものは、30台前後の貸出しとなっております。

○金崎教育長

よろしいですか。

はい、次長。

○山本教育次長

補足しますと、W i - F i 環境が整ってない家庭に、そのルーターやS I Mがついたルーターを貸出しております。

これを行うことで、今まで家庭の方でI C Tを利用して学習が出来なかった家庭も、これを利用して学習ができるようになってまいります。

○金崎教育長

よろしいですか。

他にございませんか。

はい、仁田委員。

○仁田委員

はい、失礼します。

後ろのお二方の先生の所見を拝見しての質問なんですけれども、永富先生の所見の中に、26番に関するながよ検定についての所見を述べられているところがあるんですけれども、私は具体的にそのながよ検定の内容なるものを拝見したことがないので、何とも申し上げにくいんですけれども、永富先生が書いてらっしゃるのは、読解力を測定する問題を加えることが出来ないかの検討というところについて、内容が、どういう書き方を、生徒・児童達がしているのかわからないんですけれども、読解力を図るための具体的な今後の方策みたいなものは考えていらっしゃいますか。教えてください。

○金崎教育長

田中理事。

○田中理事

はい。ながよ検定におきましては、まず漢字と、計算に関しましては、それぞれの学年が身につけるべき計算力の問題としております。

なお、若干、数学に関しては、テキスト的な部分、教科書等にあるような内容も含めております。

英語に関しましては、基本的には英単語になっております。

読解力となりますと、文章問題であったりということになってきまして、一応これも町内の教職員で作成したものを、毎年改定を加えながら現在に至るといったところになりますので、ながよ検定にこれを加えるとなりますと非常に学校の先生方への負担が増すということ、そしてそのための時間が採点も含めてかかるということがありますので、ながよ検定の読解力・リーディングスキルテスト等の導入というのは現在考えておりません。

ただ、ご指摘のように、県の方、あるいは国としましても、読解力の育成、特にリーディングスキルといったところの言いぶりでテスト等も行われておりますので、そこにつきましては、それぞれの、国語を中心としながら、全ての教育活動の中で育てていくということは示されておりますので、普段の授業の中で育成を図っていきたいと考えております。

○金崎教育長

仁田委員。

○仁田委員

はい。ありがとうございました。

やっぱり読解力を問うとなると記述式になってきて、また採点その他、問題の設問に対しても、ご苦勞があられるんだろうなと想像がつかますので、授業の中で、拡充を図っていただければと思いました。

ありがとうございます。

○金崎教育長

はい、よろしいでしょうか。

他にございませんか。

山本委員。

○山本委員

ご説明ありがとうございました。

全体的にコロナ禍の影響がある事業というか、施策の対応とかいうのが結構多かったなという印象があるんですけども、工夫をしながら取り組まれていて、できることは実施されているということが分かったので、よかったなと思います。

何点か質問があるのですが、まず1つですね、27番の特別支援教育の充実についてなんですけれど、去年は支援員の方の人数が不足しているとか、そういった内容があったと記憶しています。

令和3年度は大幅増員を行ったということなので、これも増員されているのでよかったなと思うのですが、下の今後の方針のところに、校内支援体制の一層の整備充実を図ると書いてあるんですけど、こちらは具体的にどのような整備を充実させることを考えてらっしゃるのか教えてください。

○金崎教育長

田中理事。

○田中理事

はい、ありがとうございます。

2つ目のポツの方にもあるんですけど、やはりまず、発達障害の理解、これを、教職員に向けて理解をする。

そしてそれを踏まえた上で、個々の児童生徒の特性に応じた、あるいは教育的ニーズに応じた支援をしていくと。

ですので、現段階ではまず先ほどご指摘のように、昨年、人員増員ということを行いましたので、またこれを増やしていくということは現段階では非常に厳しい状況でございますので、どの児童生徒に、どれだけのケアをしながら、どの時間に、どういう支援をするかといったことを校内体制として整備をして、計画的に実施していくということでご理解いただければと思います。

○金崎教育長

よろしいですか。

○山本委員

はい、ありがとうございました。

続けて質問してもよろしいですか。

○金崎教育長

どうぞ。

○山本委員

次が31番ですが、地域人材を活用した学校教育の推進ということで、こちらが継続実施ということになっていますが、項目は事業概要の、上から4番目黄色い四角のところ、評価対象年度実績（やり方・効果）を読んだんですが、最後に子ども達も積極的に活動していて、このような取組を継続して行ったことで、学校と地域との連携が進めやすくなったという効果が得られているというのが、何をするかというと、地域人材を活用した事業を実施したと書いてあります。

具体的に、学社融合で米作りとか伝統芸能の教育とかあるんですが、それ以外で、ここの地域人材を活用した事業というのはどのようなことをされたのかなと興味があったものですから、具体的なものがあれば教えていただければと。

○金崎教育長

田中理事。

○田中理事

はい。各小学校においては米作りであるとかを行っておりますが、それ以外で、例えば、長崎大学の方から、生物学の先生を派遣いただいて、昆虫関係のものをやったり、本日、ふるさとキャリア教育で長与中学校の発表がございましたが、地域のフォレスト何とかとおっしゃってましたが、森のマイスターみたいな方がいらっしゃって、竹を使った木工であったりとか、あるいは、漁師の方に、磯焼けの原因となりますウニの駆除をする前段階での講

義であったりとか、そして実際に、船に乗せていただいて駆除をしたりとか、ですからいろんな部分で、地域の方と連携しながら学習に取り組んでおります。

○金崎教育長

山本委員。

○山本委員

ありがとうございました。

○金崎教育長

はい、他にございませんか。

山本委員。

○山本委員

すみません。学校教育課さんと、教育総務課さんで、ICTの機器に関連する事業内容というか、そういうのが結構あるなと思ったんですが、この中で34番、これも同じところなんですけど、事業の概要の枠の上から3番目4番目ぐらいですね、黄色の評価対象年度実績（やり方・効果）なんですが、教職員を対象としたICTコンテストを実施して、一定の参加があった事は大きな成果であったとあります。

確かにICTコンテストをして、私はこういうふうに使ってますよというのを、事例発表みたいな形でやるのは非常に有効だと思うんですが、これに参加された教職員の先生は、何人ぐらい参加されて、大きな成果があったということについては、他の先生達が、それを見て、同じようにしてみても成果があったとか、どういった成果があったのかを知りたいんですが、教えてくださいませんか。

○金崎教育長

はい、田中理事。

○田中理事

すみません、確実な数は現在持ち合わせておりませんが、3、40件の申込みというか、提供がございました。

それを、発表という形でなく、紙面で情報提供いただきまして、それで審査をしまして、それを全ての学校に提供させていただいて、それを見ていただいで、使えるものがあれば使うということで、学校によって若干その取組に差がございますけれども、非常に盛んな学校においてはそれぞれ先生たちがやってみて、あるいは学年で取り組んでみて、その成果を持ち寄らせていただいたということになります。

○金崎教育長

山本委員。

○山本委員

ありがとうございました。

こういうのは非常にアイデアが勝負で、結構効率的なことにつながると思うので、引き続き実施していかれたらいいかなと思いました。

よろしくお願いします。

ありがとうございました。

○金崎教育長

はい。他にございませんか。

それでは、ご質問あるいはご意見出し尽くしたというふうに判断してよろしいでしょうか。

それでは、この件ご承認ということでよろしいでしょうか。

はい、承認と認めます。

全ての議事が終わりましたので進行を事務局にお返しいたします。

○山本教育次長

はい、ありがとうございました。

それでは、その他につきましては、議題として上がっておりませんが、1月に予定しております二十歳のつどいにつきまして、ご連絡の方がありますので、北野課長より説明をお願いいたします。

○北野課長

はい。

よろしくお願いします。

生涯学習課からお知らせ、ご案内をさせていただきます。

例年1月の初旬に開催しております成人式ですね、今回からは、二十歳のつどいという名称に変わっておりますけれども、今年は、1月8日の日曜日に予定をされております。

昨年同様二部制で開催を予定しておりまして、まず一部が、午前中で、11時から長与中と高田中、その他の学生、卒業された方ですね。

それから、午後が14時から。

長与第二中、そしてその他の学校を卒業された方を対象に実施いたします。

昨年度までは、コロナの関係で、来賓者を全く呼ばなかったんですけども、今回、今の予定としまして、教育委員の皆様と、議会議員の皆様を案内するという計画を立てております。コロナの状況を見ながら、改めてまたご案内をさせていただきますので、日程だけのお知らせをしておきます。

以上です。

○山本教育次長

今の件に関しましてご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

委員の方から何かご意見とかございますか。

ないようであれば、これをもちまして、令和4年第11回定例教育委員会を閉会いたします。

どうもお疲れさまでした。